



小野氏の絵画に見入る来場者

「洞爺の四季写真展」と過去に洞爺中学校で教鞭をとっていた小野 司氏の絵画展が同時開催されています。

写真展は、平成16年から18年度までの3年間に、とうや観光協会主催の「フォトコンテスト」で入賞した作品の中から、風景写真24点を展示。

一方絵画展は、小野氏の絵画8点を展示しています。小野氏は、過去に洞爺中学校で教員として務め、その当時の教え子たちが中心となり、今回同展の開催を企画しました。3月15日まで開催中。

洞爺の風景を切り取る 洞爺の四季写真展

羊蹄山、ニセコ連峰を望む 歩くスキーで冬の体力づくり

冬の体力づくりを目的に、2月15日花和特設コースで、歩くスキーのつどい（教育委員会主催）が行われ、約30人が参加して、心地よい汗を流しました。

コースは、旧花和小学校をスタートする約5㎞。好天の白銀に飛び出した一行は、羊蹄山、ニセコ連峰を望みながら2時間30分ほどかけて完走しました。

昼食には、花和自治会女性部の皆さんが作ってくれた地場産じゃがいも「とうや」がふんだんに入った豚汁と地元



花和の雪原を気持ちよく滑る参加者

酪農家から提供された牛乳がふるまわれ、疲れた身体を癒しました。

2月16日から、洞爺水の駅2階で、様々な顔を見せる洞爺の四季を、レンズを通して知ってもらおうと

道行政書士会と災害支援協定締結 各種証明書の手続きを支援

洞爺湖町と北海道行政書士会（吉村学会長）が、2月13日災害時において証明書や申請業務を円滑に遂行する災害支援協定を締結しました。同会との協定は、道内市町村では初の協定。協定では、無料相談の窓口を開設し、罹災証明書や各種証明書、被災自動車の登録関係など被災者支援を行うことになっています。

役場で行われた調印式では、真屋町長が「災害時行政事務が停滞した経験があり、住民支援を強めることができる」と期待



支援協定を締結した真屋町長と吉村道行政書士会長（左）

を示しました。吉村会長は「地域の皆様に役立てるよう全力で支援していきたい」と述べました。



認知症の講演を聞く参加者

約80人の町民や福祉関係者が参加しました。

最初に、洞爺湖町の課題と現状について、「高齢者が多い」「認知症の人が多い」などの報告が、地域包括支援センターの鎌田智子主査からありました。

引続き「認知症—脳血管性とアルツハイマー型—」と題して、中村記念病院神経内科の濱内朗子主任医長から講演があり、認知症についての説明や段階的な症状の特徴、その予防についての詳しい話がなされました。

介護予防講演会 正しい生活習慣で認知症を予防

平成25年度洞爺湖町介護予防講演会が、2月20日防災研修ホールで開かれ、